



化学と教育

第55巻 第10号 2007年 目次

◇ 化学教育 徒然草

化学だいすきクラブと社会……………内山 一美 479

◇ ヘッドライン：課外活動を通じた化学教育の実践

教育としての化学課外活動……………小出 力 482

部活動(自然科学部)を通しての化学教育の試み

—福井地区の高等学校(公立校)の実践報告— ……瀬戸 良平 484

生徒を育てる人の輪とサイエンス —金沢地区の高等学校(私立校)の実践報告— ……四ヶ浦 弘 486

テーマ増殖型課外活動の取り組みについて

—兵庫地区の高等学校(公立校)の実践報告— ……高橋 直久 488

大和川を題材とした理科クラブの活動を通じた科学教育

—大阪地区の高等学校(公立校)の実践報告— ……平井 俊男 490

膳所高校化学班における化学教育の実践

—滋賀地区の高等学校(公立校)の実践報告— ……村田 厚子 492

ちょっとやってみようかな, 科学 —兵庫県地区(私学)の高等学校の実践報告— ……米沢 剛至 494

環境教育を意識したクラブ活動の取り組み

—大阪地区の中学校高等学校(私立校)の実践報告— ……小西 弘子, 岡田 絵里 496

被爆地広島と出会って疑問解明が一つ一つ実験になったこの5年

—奈良地区の中学校高等学校(私立校)の実践報告— ……工藤 博幸 498

身近な不思議を科学する —大阪地区の中学校(公立校)の実践報告— ……村上 幸子 500

子どもたちの興味・関心をひく実験・観察の研究

—兵庫地区の小学校(公立校)の実践報告— ……疋田 直子 502

3Rを中心とした環境教育 —富山地区の小学校(公立校)の実践報告— ……山崎 民子 504

◇ レーダー

オジギソウはどうしておじぎをするのか?……………神澤 信行 506

真に持続可能な資源循環型社会に向けて —産業工程の川上に目を向けよう— ……谷口 正次 508

◇ 化学実験虎の巻

表面張力でろ紙のプロペラを回転させよう……………提案：堀内 和夫 追試：対馬 友里 510

◇ 定番！化学実験—高校版 44 無機化合物—窒素に着目—

教室でできるアンモニアの演示実験……………田沼 務 512

◇ 講座：周期表を読む 1—ハロゲン— 3

臭素—その用途と環境での変化……………立川真理子 514

◇ 講座：周期表を読む 2—炭素, ケイ素など— 1

ケイ素の特性を利用する有機合成反応の開発……………佐々木道子, 武田 敬 518



1. 会員外の場合

「教育会員」として入会すると配布が受けられます。年会費 7,200 円

【学生割引】年会費 4,800 円，入会金不要。

2. 「個人正会員」が追加購読する場合

所定の年会費のほかに，購読費 5,400 円を加算して購読していただきます。

3. 団体（学校・図書館・法人など）の場合

団体としての入会または購読手続が必要です。詳細は下記宛お問い合わせください。

○申込先 101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

社団法人 日本化学会 会員係（電話 03-3292-6169, FAX 03-3292-6317）

◇ シリーズ：生活環境と GSC—持続可能な社会を目指す化学技術の過去・現在・未来—

自分でリフレッシュするインテリジェント排出ガス浄化触媒……………田中 裕久 522

◇ クスリの化学（19）

向精神薬：精神病の薬（1）……………梶本 哲也 526

◇ 論文

デジタル画像のスペクトル変換解析を用いた吸光光度法による過酸化水素の分解反応の追跡
……………坂本 一磨，石原勢太郎，古賀 信吉 528

△ 日本化学会からお知らせ

「化学」で何をどう教えるべきか

科学教育の学習指導要領作成に関し，中央教育審議会あて提言書を提出……………483

平成 20 年度支部選出「代議員」選挙について（お願い）……………533

2008 年分個人会員会費等払い込みのお願い……………536

本部事務局，化学情報センター休館のお知らせ……………537

■行事一覧……………532

■編集後記……………538

次号予告 55 卷 11 号

ヘッドライン：食品の品質と酸素

ヘッドライン	コーヒーの風味向上の研究—脱酸素いれたてパック製法の開発……………小杉 浩章
	ヨーグルトの新製法「脱酸素低温発酵法」の開発……………堀内 啓史
	ビールの美味しさと酸素 —主に鮮度の観点から— ……河野 克典
	食用油脂の酸化とその防止法……………岩本 茂夫
講座	周期表を読む 1—ハロゲン— 4……………東郷 秀雄
	周期表を読む 2—炭素，ケイ素など— 2……………内山 真伸，内山 知子
シリーズ	レーダー，化学実験虎の巻，定番！化学実験，など。

表紙の言葉

「化学の眼／かがくのめ」

21 世紀に生きる研究者の眼には，自然の「摂理」，「法則」，「形態」，「色彩」，「ふるまい」など，それら総てが美しく崇高である。化学者にとって一番大切であり，厳しいものでもある「化学の眼」をモチーフに表現してみた。

表紙デザイン：青山 司
（東京学芸大学教育学部美術科）